



惡臭折檻俱樂部

その男には仲良くなりたい女性がいた。男の名前はリョウ。最近はずっとその女性のことばかり考えていた。

学校の近くに最近出来た高級そうなお店に近づく彼女を見つけた。彼女の趣味嗜好が少しでもわかればと思いリョウは店へと近づいた。

女性は大きなガラスの扉を開けて中へ入って行った。リョウは扉の前まで来て中の様子を伺うことにした。

閉まりかける扉の外から中を見ると他に客はいないようだ。
店内はかなり広い。おそろく入っても気づかれないだろう。

男はなんの店かわからなかったが入ることにした。
こっそりと店内へと入った。しかし…



そこまでよ。止まりなさい。
ここで何をしているのかしら？

あっ……えっ……えっ……
ちよつと入ってみたのですが……



廊下の奥へと消えた彼女を追いかけようとしたところで、
大柄な女性に引き止められてしまった。

怒っている様子の彼女をみてリョウは驚いた。
どのように説明すれば切り抜けられるだろうか。



この店は女性専門の衣服を扱う完全予約制のお店よ。
それともさつき入ってきた方と知り合いなのかしら？

えっ…あっ…そ……そうです。
でも…ちよつと用事を思い出したので帰ります！



違うでしょ？ ストーカーかーしてきたんだよね？
さっきの方はここに逃げ込んできたの。変な奴がついてくるってね。

えっ……あっ……いえっ……彼女とは知り合いで……
……だから……不審者とかじゃないです。



お前、いい加減にしろよ。ちよつと往生際が悪いんじゃないか？
警察に突き出してやるから観念しな。

えつちよ…いやつ…
やめてくださいっ…

そうね。常習犯みたいだし女の敵は許すわけにいかないわね。
私が警察に連絡してくるから、ちよつと押さえつけといて。



やめるわけないだろう？
お前みたいなのがいたら迷惑なんだ。

それでも…あの…警察は勘弁してください。
なんとか…他の方法でお詫びしますから…

君、自分が悪いことをした自覚はないの？
やったことは立派な犯罪なのよ。小さくても許せないわ。



……話にならないな。しかし……この場所だと迷惑だから……
とりあえず奥の部屋で話の続きをしようか。

そ……それはもう……はい……
警察は呼ばないでくださいね……

そうね。そうしましょう。奥の部屋で話しましょうか。
悪いけどついてきてくれるね？ほら……行くよ。



そもそも警察を呼ぶかどうかは私達が決めることでしょう？
ほら…この扉の奥だよ。さっきの方にも話を聞かないとね。

大丈夫。あなたの無実が証明されたらすぐ帰してあげる。
そうでなければ…私達の玩具に……いえ……

どうしてこんなことに……
早く帰してもらわないと…



女性達に連れられてリョウは黒い扉の前に立っていた。
少しだけ魔が差してやっってしまったストーカー行為。



当の彼女もこちらを知っていることだ…
誠心誠意謝れば許される…そう信じていた。この時までには。

扉の先はさらに長い廊下になっていた。廊下をゆっくりと進む。いくつものドアがありリョウ達はその中の一つの部屋へと入った。

広い部屋の中で気まずい時間が流れていく。彼は床に正座することを強要され頭の後ろに手は組んでいる状態だ。

リョウがストーカーしていた彼女への聞き取りも終わり今まさに女性達はその報告を聞いていた。



報告ありがとう。やっぱりそういうことなのね。……わかったわ。
それじゃ：準備の方お願いね。……うん。じゃあね。



床に座っているリヨウとは対象的に
女性達はソファアールに腰掛けていた。

仲間からの報告を聞いた彼女たちはヒソヒソと話をし
なんとも言えない目つきでリヨウを睨みつけた。

リヨウは警察に突き出されたくない一心で行動していた。
しかし警察に突き出されていた方が良かったかもしれない。

お前は普段からあの子に迷惑かけていたみたいね。
今回のことも含めて絶対に許すことはないみたい。

でも警察に突き出されたくないと言っていることを伝えたら、
別の方法でお詫びしてくれれば許すって言うていたわ。

べ…別の方法とは………
いったい………なんでしょうか？



私達の後ろ側にあるカメラは見えるかしら？
今、彼女はそのカメラ越しにこの部屋を見ているの。

それで私達の折檻を受けて君が完全に反省したら許すそうよ。
ねえ、どうする？私達のお仕置きを受ける？

そ…それで許して貰えるなら…従います。
…でも…お仕置きって何をするんですか？



そう：従ってくれるのね。それじゃ早速：お前の右側にあるベッドに寝なさい。何をすることを事前に知る権利なんて、お前にはないの。受けるかどうかよ。

別に私達も鬼じゃないから：ちゃんと従うならすぐ終わるわ。ただし、反省するどころか反抗したらずっと続けるから。

……わ……わかりました。……では……従います……だから……そのお願ひします……






リヨウは女性達の指示に従いベッドへ寝転び仰向けになった。
一体何が始まるのだろうか。

お仕置きという恐ろしい言葉。
リヨウは生まれて初めての体験をすることになる。

それじゃ：始めようか。そういえば自己紹介がまだだったね。
私の名前はミオ。君のような悪い男を折檻する仕事をしているわ。

そして私がユメ。ま、私は趣味みたいなもんだけど：
お前みたいな悪い男を始末：いえ、お仕置きする仕事をしているわ。





今から始めるお仕置きは顔面潰し。ミオの大きなお尻でお前を潰すわ。
私はお前がちゃんと反省しているか見届ける役。ちゃんと反省しなさい。

えっ！ど…どういふことですか！？……
どうしたら…いいんですか……？？？……

A woman with short black hair, wearing a black latex dress and black wristbands, stands between two large, muscular legs wearing red high-heeled shoes. She is looking towards the camera with a slight smile. The background shows a room with horizontal blinds and a door.

ルールは簡単。たった一分間、ミオの尻下で抵抗せずに反省すること。たったそれだけで許してあげるって言っているのよ。

…怖いですが……が……わかりました……
それで許してもらえらるなら……お願いします。

A woman with short black hair, wearing a black latex dress and a black choker, stands over a man lying on the floor. She is holding the man by the back of his white shirt with a black strap. The man is wearing blue jeans and a white shirt. A large red balloon is visible on the right side of the frame. The background is a simple, light-colored wall.

ま：でも、今までこれに耐えられた男は誰一人いないけどね。
もしお前も反省しきれなかったら更に苦しい罰を与えるわ

えっ：ちょ：そんな：
どういうことですか：



ミオは重たいし、これは折檻用の硬い素材の服だからね。
鼻の骨や頭蓋骨が壊れてしまうかもしれないね。ほら落ちてくるよ。

ひっ…いやっ…やめ…
いやだ！たすけて…！

あはっ♡小さいお顔ね。果たして耐えられるのかしら。少しでも抵抗したら…また私達の玩具として…ふふふ♡

ほらほら…手を下ろしなさい。まだ五秒しか経ってないよ。

んぶー………!!
んぶぶっ……!!んー!!

ちよつとちよつと…全然反省してないじゃない！ずっと抵抗しているでしょ。
お仕置き決定でいいかしら？……ふふふ♡私の…新しい…玩具…♡♡

手を下ろせって言っているでしょう？三秒以内に下ろさなかったらお仕置き決定よ。
三…二…一…ゼロ…はいおしま〜い♡それじゃお仕置きを始めましょうか♡

んんー！んんー！！
んぶふ！んぶふふ！！



A woman with long black hair is seen from behind, wearing a shiny red latex dress. She is standing in a room with horizontal blinds in the background. The lighting is soft, highlighting the texture of the latex. The woman's hair is straight and falls down her back. The red dress is form-fitting and has a high slit on the left side. The background shows a window with horizontal blinds and a decorative lattice pattern on the wall.

やっと静かになったね♡……私のおなら、気絶するほど臭かったのかな？
これからたくさん……臭くて苦しくて大変な遊びをいっぱいしましようね♡

あはは♡完全に落ちちゃったみたいね。前のが壊れてからずっと暇してたし……
そろそろやりたかった頃なのよね……私にも使わせてちようだいね♡



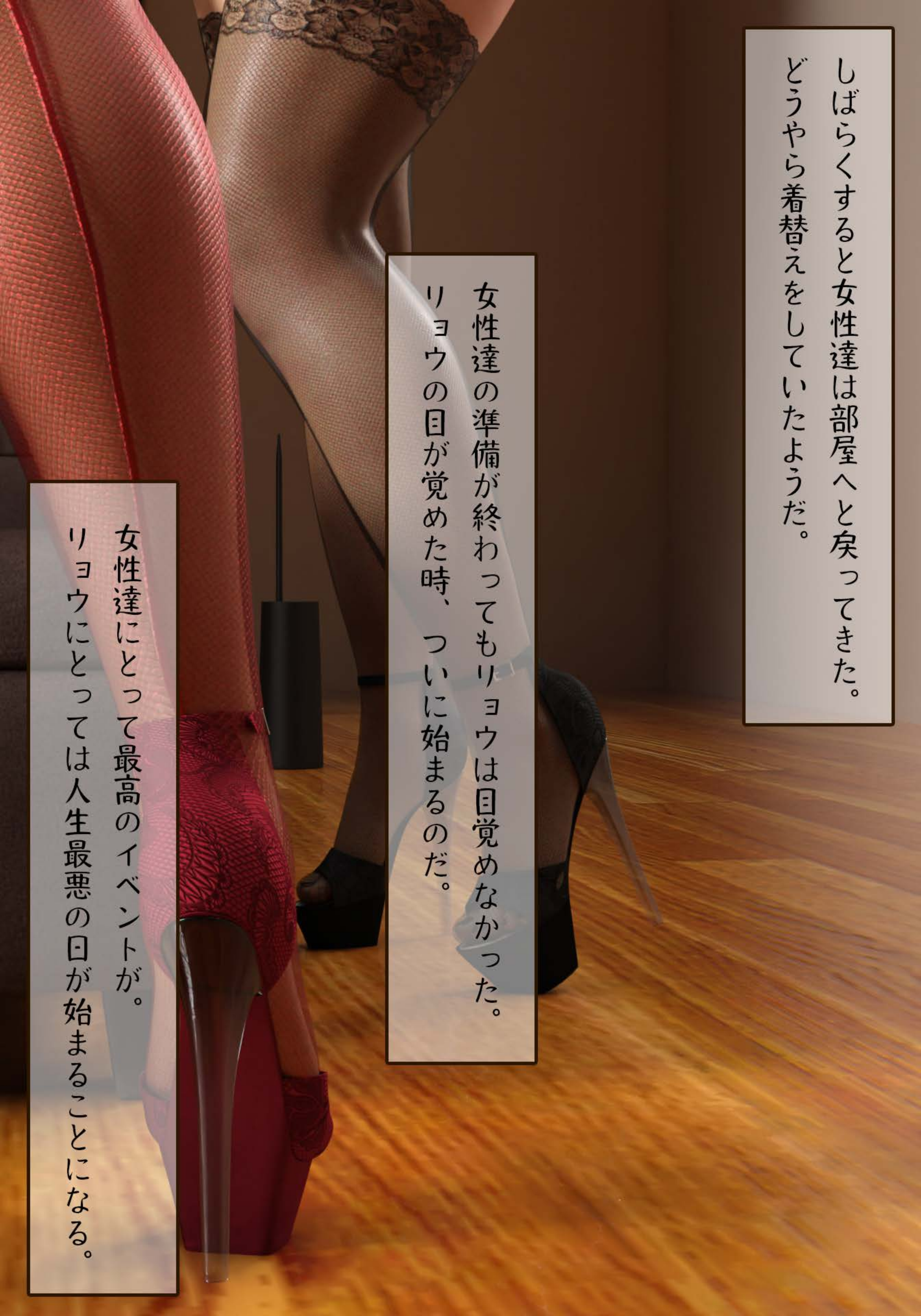
もちろん♡二人でたくさん虐めてあげましょ♡
考えるだけで濡れてきちやっただ♡♡

最初は何からやろうかな♡私も疼いてきちやっただ♡
ここは色々揃ってるからなんでもできるもんね：早速準備しましょ♡

リヨウはあまりの衝撃手な出来事に
そしてその激臭により一時的に気絶してしまった。

気絶してしまったりリヨウを女性達はベッドに拘束した。
怪力の大男でも外せない金属製の拘束具。

パンツ以外の衣服を脱がされ、拘束されたりリヨウ。
女性達は微笑みながら部屋から退出した。



しばらくすると女性達は部屋へと戻ってきた。
どうやら着替えをしていたようだ。

女性達の準備が終わってもリョウは目覚めなかった。
リョウの目が覚めた時、ついに始まるのだ。

女性達にとって最高のイベントが。
リョウにとっては人生最悪の日が始まることになる。

なかなか目覚めないわね…？そんな強烈だったのかしら…私のオナラが…
これから壊れるまで毎日与え続けるわけだけど…いつまで持つのかしらね…

そうね…こんな小さくて可愛い子供みたいな男、めったに手に入らないからね…
大切に扱いましょ……奴隷にするか…玩具にするか…どうする？



いつも私達の好きなようにやっているから…今回は選ばせてあげようかな。
この男が選択した方で徹底的にやってあげましょ♡

ふふ♡確かにそれが面白いかもしれないわね。
…おっ…ちよつと動いたわ。そろそろ目覚めるかしら…どんな反応をするかな…



はっ……えっ……こ……これは？
ちよ……ちよつと……え？

やっと目が覚めたようね。それは君がここから逃げ出せないようにするための道具。
私の顔面潰しに耐えられなかったからお仕置きしないといけないでしょ？

えっ…ちょっと…やめて…
やめてください…もう……

そうそう…お前は嘘をつく傾向が強いみたいだから…念のためね。
これから私達が納得するまでずーっと折檻が続くからいっぱい反省しなさい♡♡

やめないわよ。これは私達への裏切りに対するお仕置きなんだから……
例え警察に突き出すにしても、それはお仕置きが全て終わってからよ。

これ……苦しいんです……
これだけでも外して……

お前、悪いことをした自覚ある？抵抗すればするほど酷いお仕置きになるわよ。
ちよつとは反省して申し訳なさそうにするのが普通じゃないかしら？

あら苦しいの。それは困ったわね。でももっと苦しくなるはずよ。
まずは私のマン汁でぐっしより濡れたオマンコのくっさる匂いを嗅がせてあげる♡

ちよ…おっ…おえええっ！
く…くさい…ごほごほ…

うは♡最初は匂い責めですか♡良いですね！
今回は何日間洗ってないんですか？

今回は…下着一ヶ月の中身三日かな。ほら…臭いでしょ。私のおまんこ。君の清潔な舌を使ってお掃除してくれても良いんだよ？どう？したい？

おっ…げほっ…ごほっ…気持ち悪い…
い…いやだ…絶対にしたくないです…

うわ…一ヶ月つて…エグすぎ♡ミオは匂い責めが大好きだもんね♡
コイツめっちゃ震えてるけどマン臭だけで堕ちたりしないわよね？



あら嫌なの？……嫌ってことは……お仕置としてやるなら最高よね。
嫌がることをやるのがお仕置きだもんね。ねえ……君、そう思わない？

お願いします……もう勘弁してください……
く……臭すぎて……もう助けてください……



君、そんなお願いとかできる立場じゃないんだよ？
ちよっとわからせてあげないとダメみたいね。

えっ…ちよ…なにをするんですか…？
もう…許してください。お願いします…



私の下で窒息してもらおうと思っ
てね。

息が詰まって死ぬ直前まで私の太腿で包み込んであげるわ♡

え…いやっ…やめてください…ごほっ…
そんなこと…無理です…お願いします。

ねえ…ユメ、この背もたれ外せるかな？
これがないければ…かなりピッタリ密着させられると思うの。

ちよつと…本当に勘弁してください。
警察でもなんでも呼んでくれていいので…

簡単に外せると思うよ。この前…一度だけ外したことがあるからね。
たしか…上から引っこ抜くだけだったはずよ。

リョウが大声で泣き叫んでいるが女性達はお構いなしで準備を進めた。
背もたれを引き抜き全ての準備が終わった。

これで準備万端ね。久しぶりだから気をつけてやるわ。
ところでコイツの手が邪魔だからいつものヤツお願いね♡

聞いてくださいよ！ちょっと！ねえ！！
無視しないで！お願いしますよ！おい！！

オツケー♡いつものヤツね。でもこの男大丈夫かな…
だいたい細いけど…潰れて死んでしまわないから怖いわね…



さすがにそこまで弱くはないでしょ……まあでも……確かに圧死しそうよね。
だから……まだ……少しだけ手加減してあげたらどうかかな。

ちよつとちよつと！やめてくださいよ！！
これはやりすぎでしょ！警察に言うぞ！！

了解♡いつの日か全体重預けられるようになったら……
それはそれで面白そうだもんね。じゃ始めよっか♡





なにが「警察に言うぞ」よ。君がもともと悪いことしたんでしよう？
それに…どうやって通報する気かしら。もうここから出ることはできないのに。

えっ？嘘でしょ…助けて…
お願い！いや！やめて！

ほらほらこの暴れてる手はナイナイしましよな
私のお尻の下で大切に預かってあげる♡



ひよっとして日常に戻れると思ってたのかしら？
反省ができなかった時点でその道は既に閉ざされているのよ。

私達、嘘は絶対につかないわ。お前と違ってね。
だからミオが言っていることも真実よ。

離して！お願い！ちよと！
許して！許してください！

ほら…これでもう抵抗できないでしょ。手はユメの尻下だし…
足も首も拘束してあるから動かさせないね。呼吸も今から私が管理してあげる♡

いや!やめて!どいて!!
お願い!そこから!おい!

ひよっとして本気で暴れてる?私の体重でピクリとも動かないのは…
さすがに力がなさすぎでしょう…逆に心配になってしまおうわ…



今から君の口を私の太腿で塞いで窒息させてあげるけど…そうね…
お前の判断次第で…塞ぐ時間を変えてあげるわ。好きに選ぶといいよ。

いやだ！やめて！ちよっ！
だめ！塞いじゃだめ！！！！

うるさい男ね。そんなに優しくする必要ないんじゃない？
私なら静かになるまで何度も踏み潰し続けるわ。ミオは優しくすぎよ。



A woman with long black hair, wearing a red lace bra and matching underwear, is leaning over a man who is lying on a massage table. She is looking down at him with a slight smile. The background is a wall with a repeating diamond-shaped pattern. The man is lying on his back, looking up at her.

ふふ泣いているの？可愛い♡お尻の穴で潰したいけど…今はやめておくわね。
時間について説明するね。まずは黙りなさい。静かにできなければ一時間潰すわよ。

ひっ……
……はい。……

私達の性処理奴隷になるなら一分間、玩具になるなら一分間で許してあげるわ♡
選ばなかった場合は二分半よ。どうする？

えっ……..
…えっと……



はい時間切れ〜♡まずは二分半苦しみなさい。二分後にまた聞くけど…
選択しなかったら何度でもこうやって…二分半潰し続けるからね。

むぐー！！



前にそうやって決断が遅すぎて…私の太腿の下で窒息死してしまった男がいたわ。
君もそんな死に方したくないでしょう？だから…決めることをオススメするわ♡

苦しい…息が…できない…
…助けて…誰か…お願い…

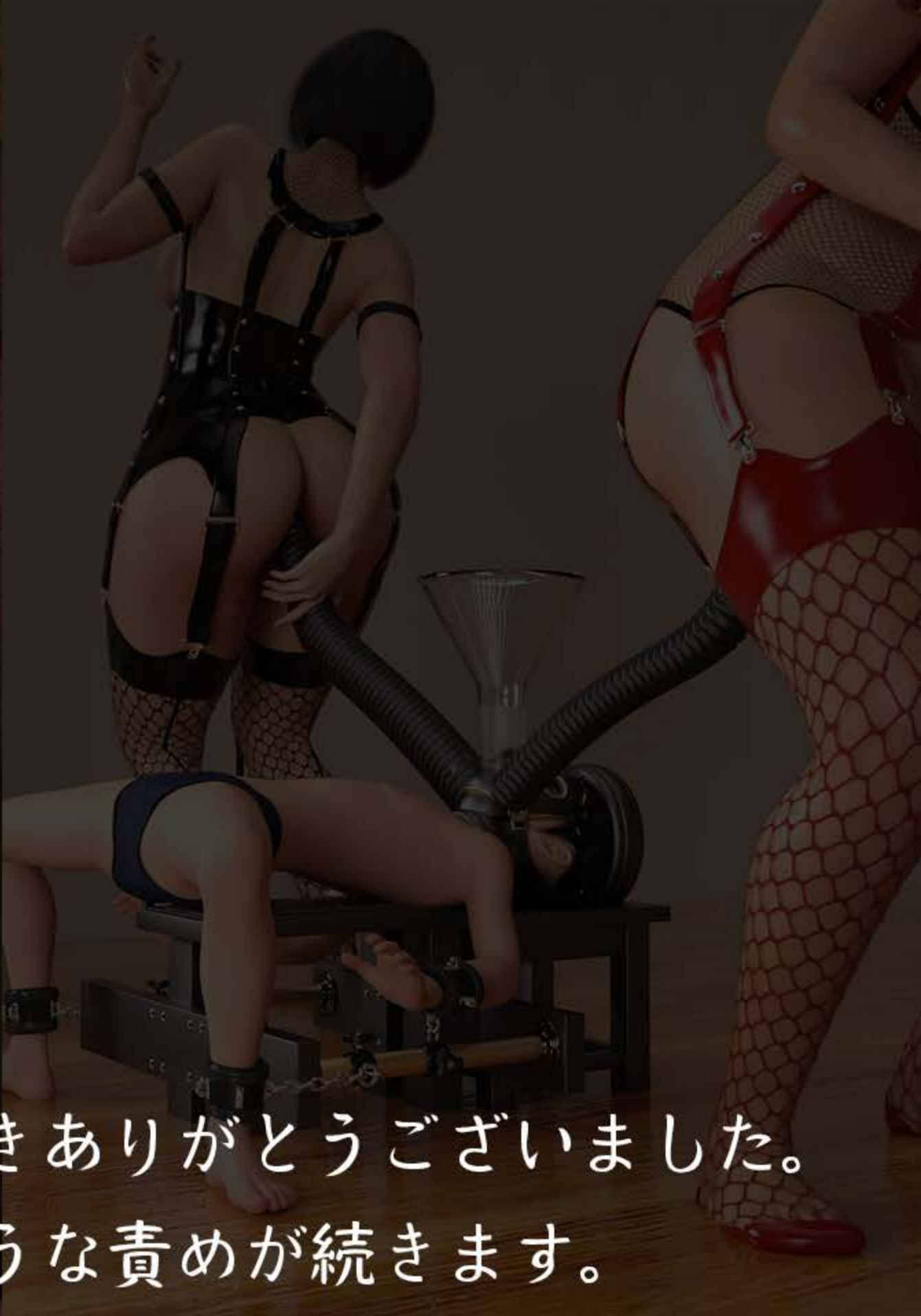
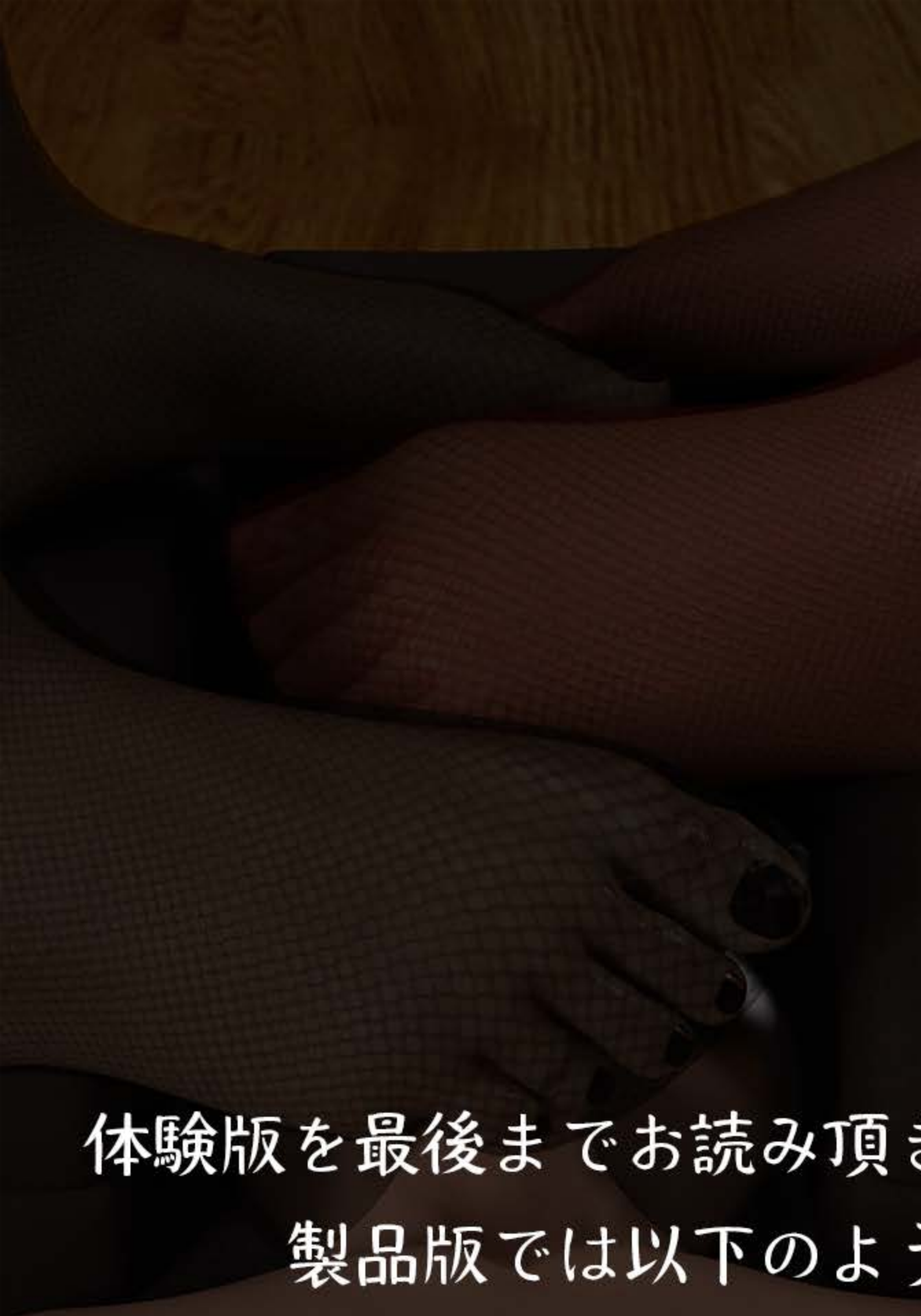
〇〇〇



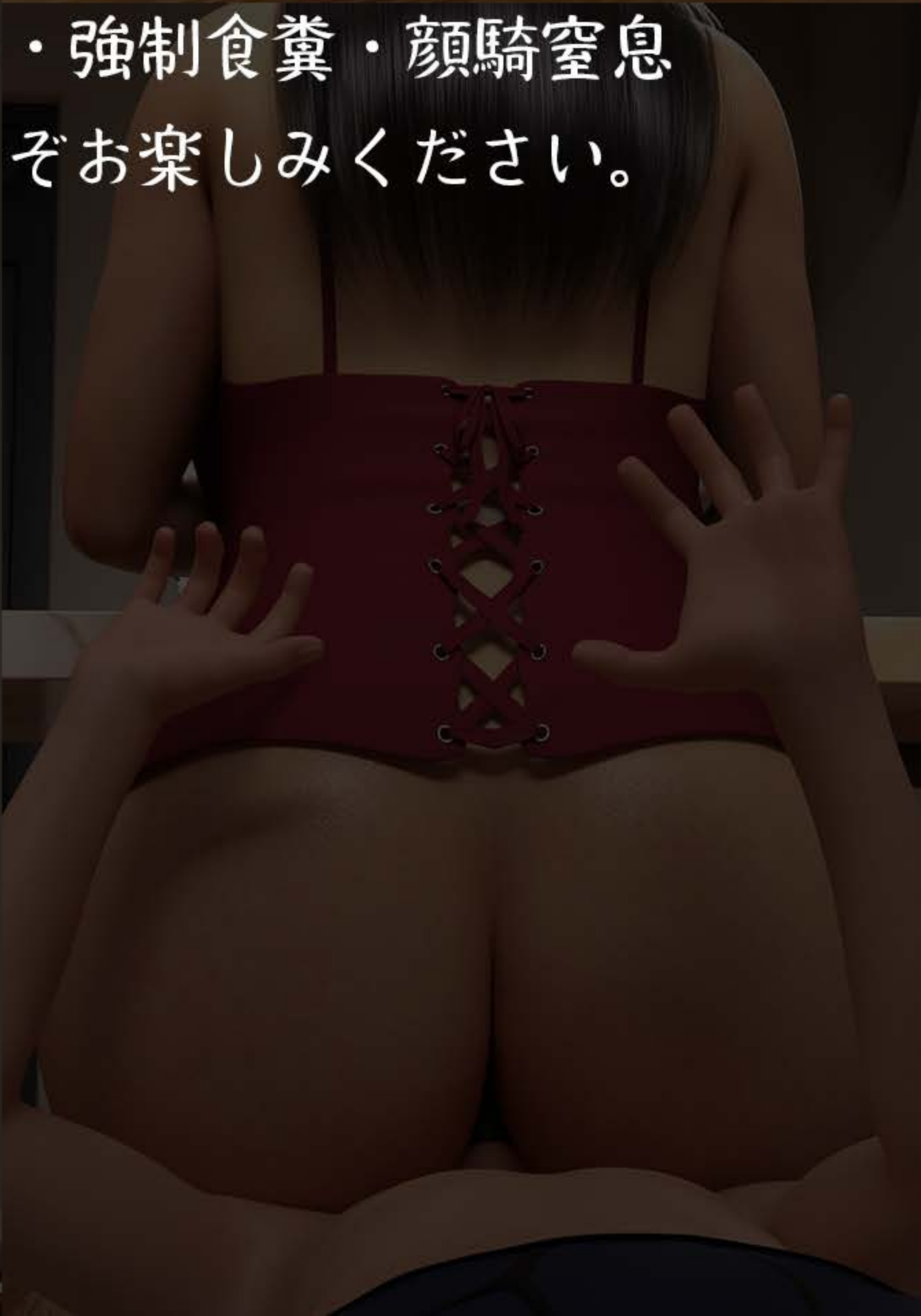

私は性処理奴隷をオススメするわ。私達の汚いアソコを舌で舐めたりできるのよ？ 私達が気持ちよくなれるように尽くし続ける仕事よ。どう？…そろそろ二分半ね。

…苦しい…意識が…
奴隷は…絶対に…嫌だ…

〇〇〇



体験版を最後までお読み頂きありがとうございました。
製品版では以下のような責めが続きます。



股,足,屁,糞の匂い責め・強制食糞・顔騎窒息
残り158ページ…どうぞお楽しみください。